

「戦争をしない」と「平和であり続ける」	私は「戦争をしてはいけない」ということ	はよく目にするが、「今の平和を少しでも長く続けよう」という言葉はなかなか耳にすることがない。一見、同じに思えるが、私はそう思っていない。	今の日本は戦争をしておらず、平和であると言える。しかし、日本に住んでいる人々が今は平和であるとは自覚している人は意外にも少ないのではないだろうか。なぜなら、「今の平和を少しでも長く続けよう」という言葉を耳にすることがなかなかないからだ。今もシリアなど世界の各地で戦争をしている国がある。だからこそ、日本の人々は今の平和を改めて認識し、その平和を世界に広めようとすることが大切なのだと思う。無論、その人の周囲の環境などで「今は平和ではない」と思う人もいると思う。しかし、日本など多くの国の人を殺すことは犯罪で、法律によって禁止されているが、戦時中の国ではそのルール
---------------------	---------------------	--	---

ルが無視され、人を殺す行為が正当化されて  
いる。このため、日本は少なくとも戦争をし  
ている国々よりは平和であると言えると思う  
では、なぜ「今の日本は平和」と口にする  
人が少ないのだろうか。それは人々が戦争の  
怖さを知らないからだ。私は思う。これは日  
本人に限った話ではないが、現代の社会は戦  
争を知らない人が中心になっていている。そし  
てこれからの社会をつくっていく私達も戦争を  
知らない。これらの人々は戦争を大雑把にし  
か理解していないと思う。書面で見ても理解  
したとは言えず、「体験してみないと分から  
ないもの」があると思っただけだ。ではどう  
やって理解しようとするか。それは体験した  
人から話を聞くことが一番だと考える。その  
話からどれだけ想像力を膨らませて、その恐  
怖を理解できるかが大切だと思う。当然、体  
験した人々より理解はできないし、完全に理  
解したとはいえないだろう。しかし、そうで  
きなくても理解しようとすることは大切だと

思うし、少しでも理解を深められれば今よりもっと良い社会になっただけでは近未来の平和にしか  
うか。しかし、それだけでは近未来の平和にしか  
ならず、半永久的な平和を実現するには次の  
世代まで語り継いで「昔の出来事」と他人事  
のようにさせないことが大切だと考えている  
そのためにも現代の人々は体験談を聞いて、  
それを少しでも深く理解するべきなのだ。  
私達の世代は半永久的な平和を実現させる  
ための、大事な世代なのだと考えている。な  
ぜなら、戦争の経験者から直接話を聞くこと  
ができるのは私達の世代だけだからだ。無論  
私達の世代で戦争が起きてしまつてはそれま  
でだが、この平和を持続させていくためには  
戦争を経験した人々がいなくなつてしまつて  
も、体験談を戦争の怖さと共に語り継いでい  
くかがとても大事だと私は考えている。  
このように、「戦争をしない」と「平和を  
長く続ける」は、一見同じような言葉だが、

意味は異なるのではないだろうか。平和を続けるためには今の日本が平和であることを自覚して戦争のことを体験談などを通して少しでも理解を深め、それを次の世代に語り継いでいくことが大切であり、「平和を持続する」という観点から見ると私達の世代はとても大事であると言えるのではないだろうか。